

## 特集記事

## Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾 テーマ編:子育て～移住先で子と親を支える地域コミュニティ 開催

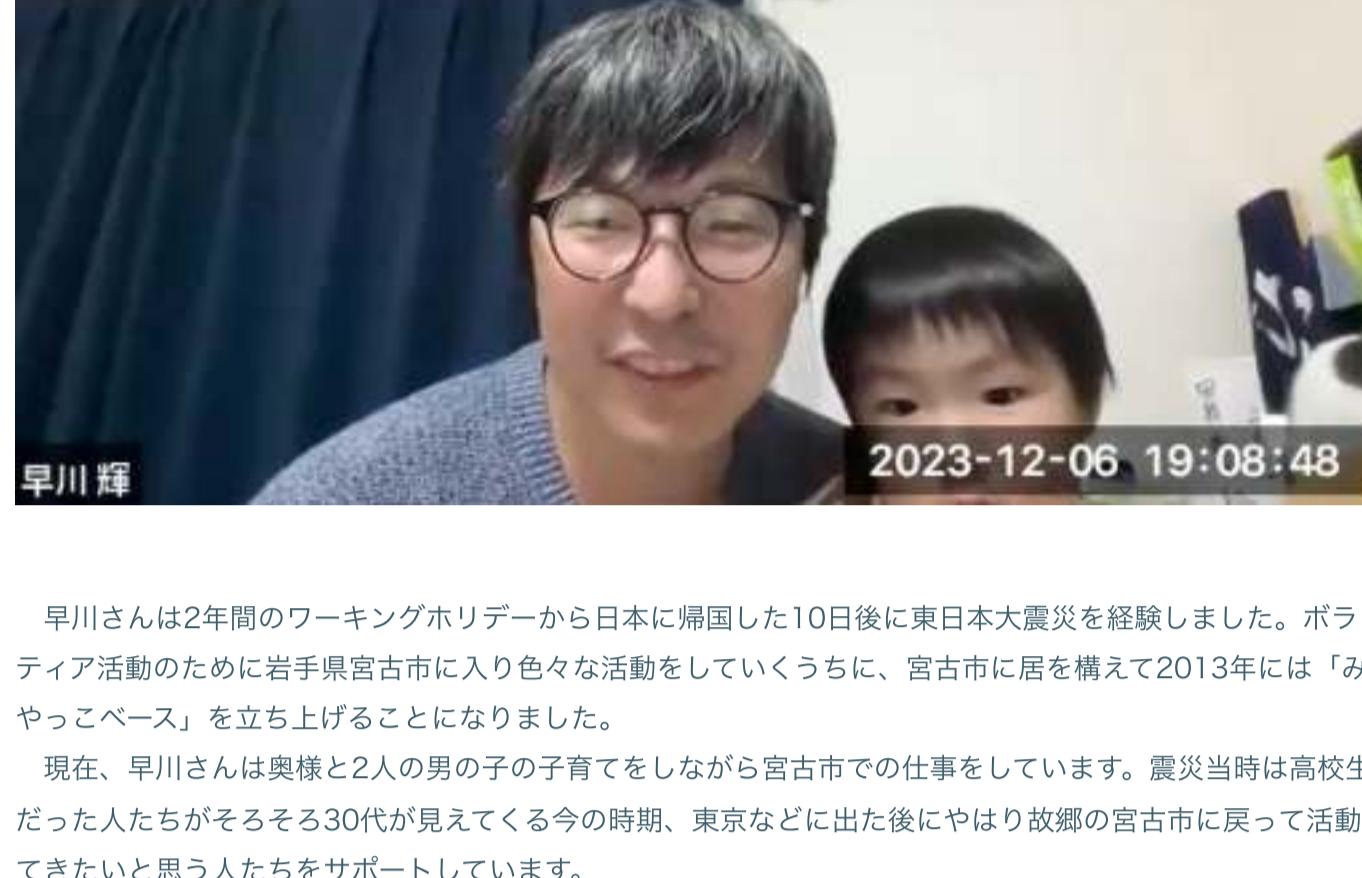
[ショア] [Twitter]

投稿日:2024年1月11日 カテゴリ:Fw:東北FanMeeting

Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾 テーマ編:子育て～移住先で子と親を支える地域コミュニティ イベントレポート

## Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾

## テーマ編:子育て 移住先で子と親を支える 地域コミュニティ



2023年12月6日(水) 19:00～21:00 [現地から配信 / zoom online開催]

東北への移住をテーマとした「東北暮らし発見塾」のテーマ別開催として「子育て」を取り上げ、移住コーディネーターや有識者を交えてディスカッションを行いました。

家族での移住や、移住先で家庭を築く際に、子どもの居場所や活動機会の有無、子どもを持つ女性をケアする大人たちのネットワークなど、多様なコミュニティの存在は、子どもがいる家庭を持つ移住者にとって、地域に寄せる期待のひとつになります。

今回の「東北暮らし発見塾」では、岩手県宮古市と宮城県南三陸町を取り上げ、宮古市からは若年層の成長の機会を地域の場づくりから展開している特定非営利活動法人みやっこベース、南三陸町からは復興庁令和4年度地図づくりハンドズオン支援事業の受け入れから「南三陸子そだてハッピーポject」を立ち上げた女性組合の団体、特定非営利活動法人ウィメンズアイ、南三陸町移住・定住支援センターから登壇者を迎えて、移住と地域の子育てについて話を伺いました。

また、他地域から秋田県五城目町を拠点とする一般社団法人ドチャベンチャーズから畠田香澄さんを交え、地域で求められる活動についての視点を提供いただきながら、ディスカッションを行いました。

## (1) 登壇者自己紹介

早川 輝 氏 (特定非営利活動法人 みやっこベース 理事長)



早川さんは2年間のワーキングホリデーから日本に帰国した10日後に東日本大震災を経験しました。ボランティア活動のために岩手県宮古市に入り様々な活動をしていくうちに、宮古市に居を構えて2013年には「みやっこベース」を立ち上げることになりました。

現在、早川さんは奥様と2人の男の子の子育てをしながら宮古市での仕事をしています。震災当時は高校生だった人たちがそろそろ30代が見えてくる今の時期、東京などに出た後にやはり故郷の宮古市に戻って活動してきたいと思う人たちをサポートしています。

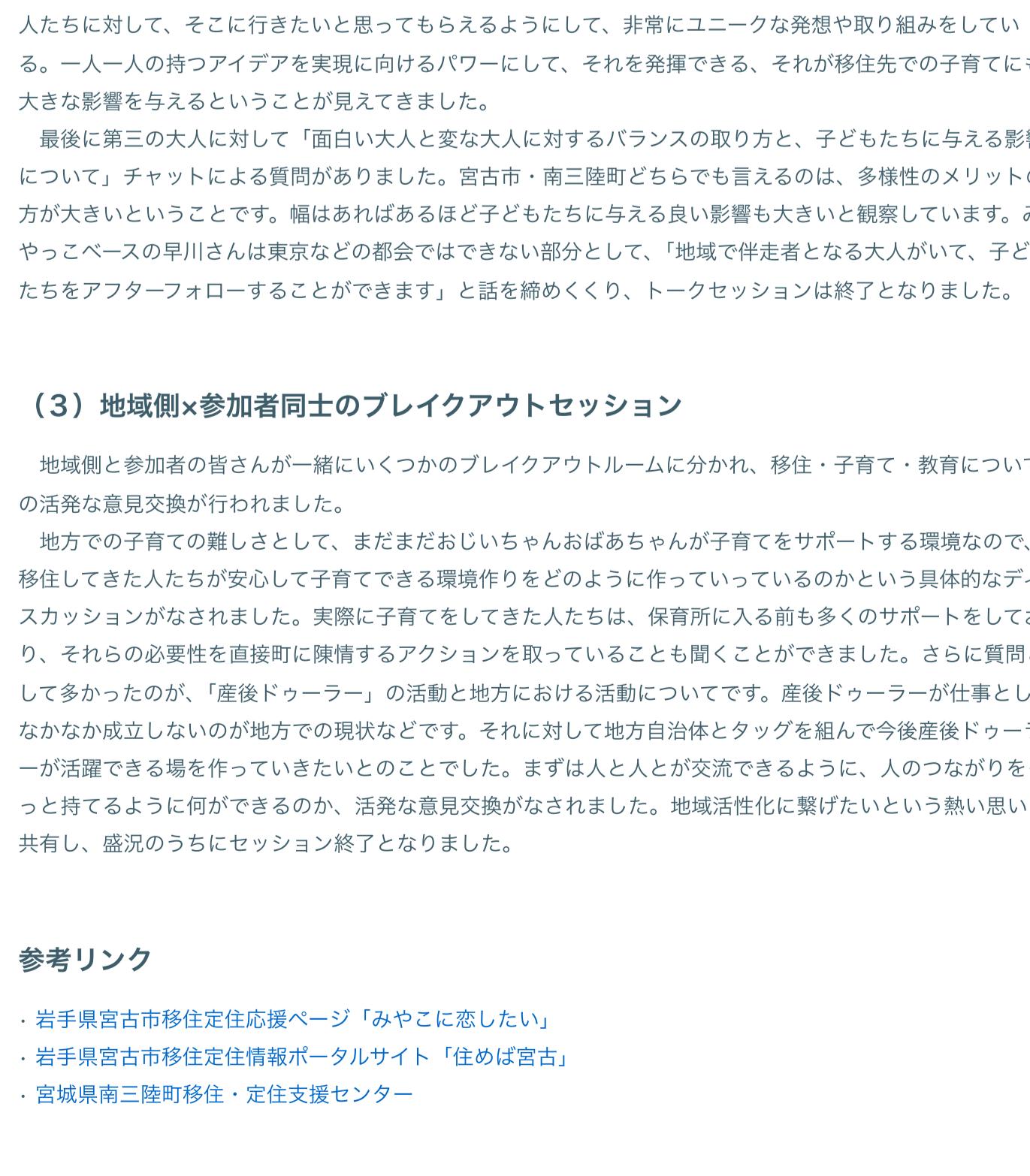
八島 悟 氏 (宮古市地域おこし協力隊)



八島さんは2022年4月に宮古市へ移住しました。地域おこし協力隊に従事し、移住者目線からUターンの促進、クリエイティブ業務を頑張っています。八島さんもまた、2023年4月にパパとなり、子育て真っ只中です。今回はパパの移住者という立場での登壇となりました。

宮古市は森林率が92%で、森・川・海の絶景がつまつた町です。豊かな漁場と山に恵まれ、一年中美味しいものが盛り沢山な場所です。同時に移住という観点は、人の住むエリアがさく一部に限られています。地元の産業や農業が仙台などの都会と比べると少なく、資金の面・金銭面での負担が大きいのは事実です。家賃についても県中心の盛岡市と比べてほど変わらず、移住という部分での課題はまだ多いのが現状です。そのようななかで子育てを支援するため充実した支援制度を作りて環境づくりを始めています。支援制度には、幼児教育・保育の無償化の対象範囲拡充(0-2歳)、住宅手当支援金制度(所得制限なし)、子ども医療給付事業、こども発達支援センターの設置など独自に行っているものがあります。

上野 英律 氏 (南三陸町移住・定住支援センター センター長)

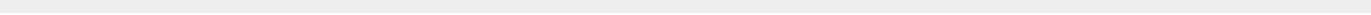


上野さんは2018年から移住支援の仕事を宮城県南三陸町で行っています。東京で生まれ育ち、両親の実家は山梨と秋田ということで、自分自身の故郷はどこなんだろうという思いを抱いていましたが、南三陸町の地域の方々と触れ合うことにより、東北の地で故郷のような感覚を抱くことができました。

南三陸町は、町の形がCの字となっていて、あまり高い波の来ない豊富な養殖場が広がっています。そのため牡蠣やホタテやカマなどの養殖業が盛んです。最近では農業に力を入れています。「入谷のサニシキ」などの美味しい米や、ブドウやリンゴや桃やキウイなどのフルーツの栽培にも取り組んでいます。パオマス産業都市構想という持続可能な街づくりをしていることを目指したいポイントです。住民が生息を分別し、それを肥料として再利用する活動が行われています。森林に関してはFSC、海に関してはASCという国際認証を取って活動を活発に行っています。

上野さんは南三陸町に来て初めて漁師さんと触れ合う機会がありました。自分のイメージでは漁師さんは怖いなどなどと思っていたのですが、接してみると同じ人間などとの親近感を持ち、このような方々が活躍する南三陸町をサポートしたいという思いを抱いて仕事をしています。

栗林 美知子 氏 (特定非営利活動法人 ウィメンズアイ 理事)



栗林さんは子育てを通じて多くの経験を積んでいます。子育てで奮闘しているママさんたちに出会って、その声を聞いてそのサポートをしたいと願い、ウィメンズアイを立ち上げました。ウィメンズアイはミッションとして(1)地域女性のエンパワーメントと、(2)地域女性を取り巻く環境を改善すること、(3)地域女性の声を内外に伝えることを掲げています。「他のちと暮らしを真ん中に自分をいかし歩み続ける女性たち」をビジョンとしています。特に母さんたちの目線での発信そして活動を行っています。

丑田 香澄 氏 (一般社団法人ドチャベンチャーズ 理事)



関西の和歌山県出身の丑田さんが南三陸町に来たのは、大学卒業後の震災のボランティアがきっかけでした。ボランティア活動を2年ほどしていくうちに、東京での仕事を辞めて南三陸町で活動したいと思うようになりました。

栗林さんは子育てを通じて、その経験を交えて、特定の会員で社会人となり、東京での会員として「新しい東北」官民連携推進協議会事務局担当

株式会社 T-B  
Mail : 03-6730-9291@t-b.jp

2015 「新しい東北」官民連携推進協議会 All Right Reserved

## カテゴリ

「新しい東北」復興・創生の星顕影2023

「新しい東北」復興・創生の星顕影2022

「新しい東北」復興・創生の星顕影2021

「新しい東北」復興・創生の星顕影2020

「新しい東北」復興・創生の星顕影2019

「新しい東北」復興・創生の星顕影2018

「新しい東北」復興・創生の星顕影2017

「新しい東北」復興・創生の星顕影2016

Fw:東北FanMeeting

インタビュー2018

みちのくみっけ

東北の明日を切り拓く

東北の「新たな挑戦」

## Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾 テーマ編:子育て～移住先で子と親を支える地域コミュニティ 開催

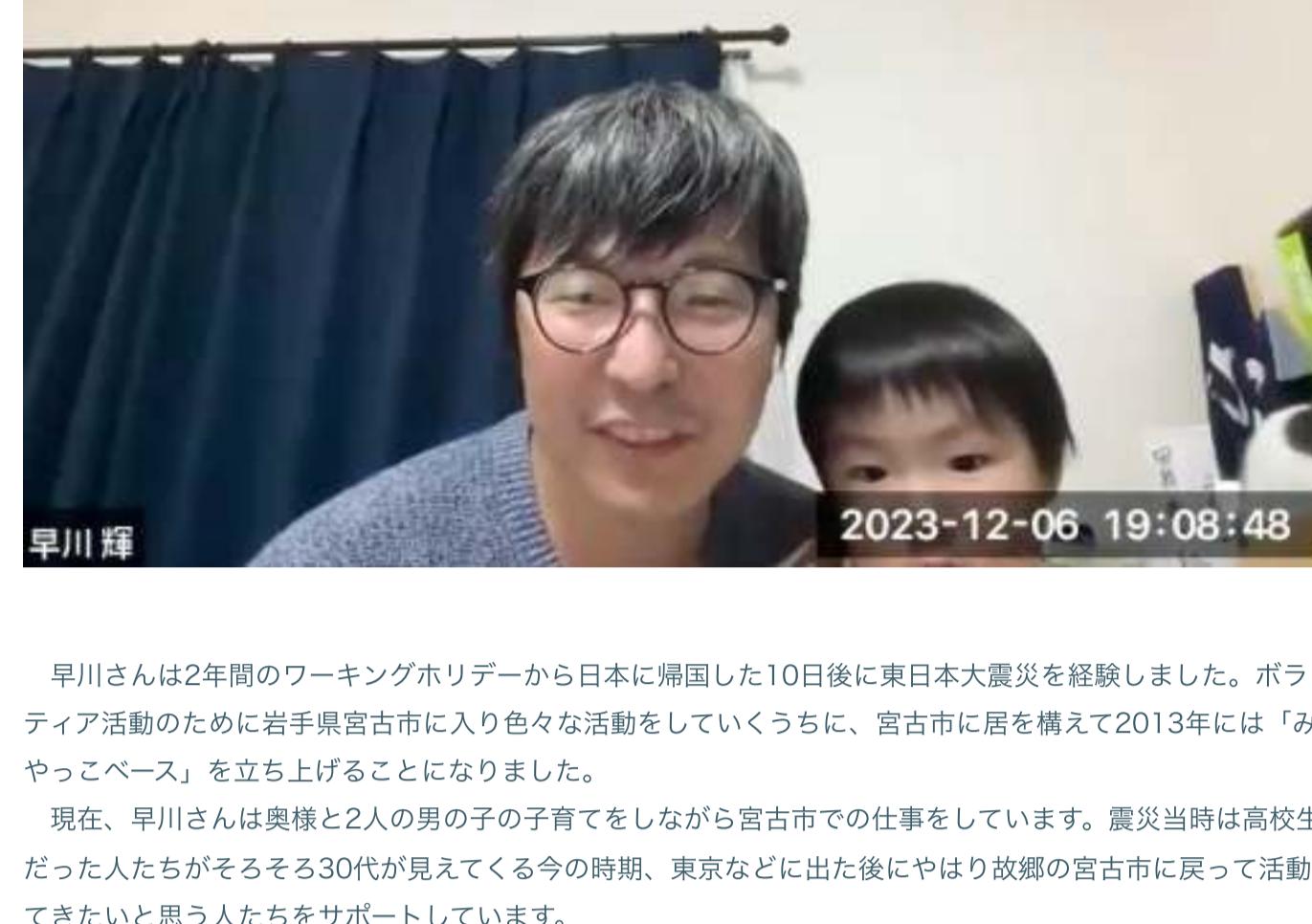
[ショア] [Twitter]

投稿日:2024年1月11日 カテゴリ:Fw:東北FanMeeting

Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾 テーマ編:子育て～移住先で子と親を支える地域コミュニティ イベントレポート

## Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾

## テーマ編:子育て 移住先で子と親を支える 地域コミュニティ



2023年12月6日(水) 19:00～21:00 [現地から配信 / zoom online開催]

東北への移住をテーマとした「東北暮らし発見塾」のテーマ別開催として「子育て」を取り上げ、移住コーディネーターや有識者を交えてディスカッションを行いました。

家族での移住や、移住先で家庭を築く際に、子どもの居場所や活動機会の有無、子どもを持つ女性をケアする大人たちのネットワークなど、多様なコミュニティの存在は、子どもがいる家庭を持つ移住者にとって、地域に寄せる期待のひとつになります。

今回の「東北暮らし発見塾」では、岩手県宮古市と宮城県南三陸町を取り上げ、宮古市からは若年層の成長の機会を地域の場づくりから展開している特定非営利活動法人みやっこベース、南三陸町からは復興庁令和4年度地図づくりハンドズオン支援事業の受け入れから「南三陸子そだてハッピーポject」を立ち上げた女性組合の団体、特定非営利活動法人ウィメンズアイ、南三陸町移住・定住支援センターから登壇者を迎えて、移住と地域の子育てについて話を伺いました。

また、他地域から秋田県五城目町を拠点とする一般社団法人ドチャベンチャーズから畠田香澄さんを交え、地域で求められる活動についての視点を提供いただきながら、ディスカッションを行いました。

## (1) 登壇者自己紹介

早川 輝 氏 (特定非営利活動法人 みやっこベース 理事長)



早川さんは2年間のワーキングホリデーから日本に帰国した10日後に東日本大震災を経験しました。ボランティア活動のために岩手県宮古市に入り様々な活動をしていくうちに、宮古市に居を構えて2013年には「みやっこベース」を立ち上げることになりました。

現在、早川さんは奥様と2人の男の子の子育てをしながら宮古市での仕事をしています。震災当時は高校生だった人たちがそろそろ30代が見えてくる今の時期、東京などに出た後にやはり故郷の宮古市に戻って活動してきたいと思う人たちをサポートしています。

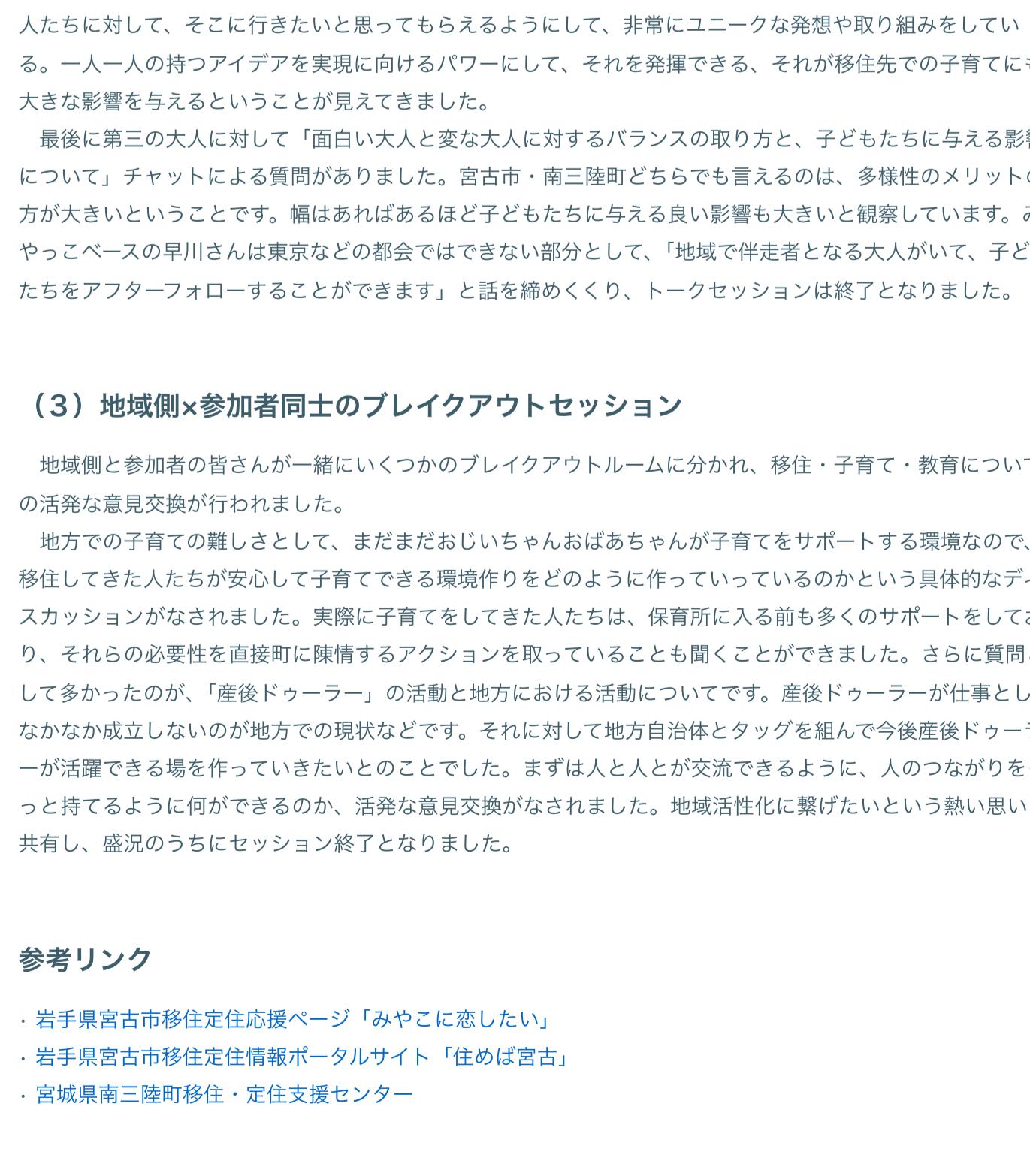
八島 悟 氏 (宮古市地域おこし協力隊)



八島さんは2022年4月に宮古市へ移住しました。地域おこし協力隊に従事し、移住者目線からUターンの促進、クリエイティブ業務を頑張っています。八島さんもまた、2023年4月にパパとなり、子育て真っ只中です。今回はパパの移住者という立場での登壇となりました。

宮古市は森林率が92%で、森・川・海の絶景がつまつた町です。豊かな漁場と山に恵まれ、一年中美味しいものが盛り沢山な場所です。同時に移住という観点は、人の住むエリアがさく一部に限られています。地元の産業や農業が仙台などの都会と比べると少なく、資金の面・金銭面での負担が大きいのは事実です。家賃についても県中心の盛岡市と比べてほど変わらず、移住という部分での課題はまだ多いのが現状です。そのようななかで子育てを支援するため充実した支援制度を作りて環境づくりを始めています。支援制度には、幼児教育・保育の無償化の対象範囲拡充(0-2歳)、住宅手当支援金制度(所得制限なし)、子ども医療給付事業、こども発達支援センターの設置など独自に行っているものがあります。

上野 英律 氏 (南三陸町移住・定住支援センター センター長)

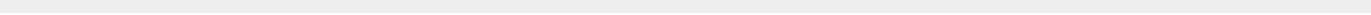


上野さんは2018年から移住支援の仕事を宮城県南三陸町で行っています。東京で生まれ育ち、両親の実家は山梨と秋田ということで、自分自身の故郷はどこなんだろうという思いを抱いていましたが、南三陸町の地域の方々と触れ合うことにより、東北の地で故郷のような感覚を抱くことができました。

南三陸町は、町の形がCの字となっていて、あまり高い波の来ない豊富な養殖場が広がっています。そのため牡蠣やホタテやカマなどの養殖業が盛んです。最近では農業に力を入れています。「入谷のサニシキ」などの美味しい米や、ブドウやリンゴや桃やキウイなどのフルーツの栽培にも取り組んでいます。パオマス産業都市構想という持続可能な街づくりをしていることを目指したいポイントです。住民が生息を分別し、それを肥料として再利用する活動が行われています。森林に関してはFSC、海に関してはASCという国際認証を取って活動を活発に行っています。

上野さんは南三陸町に来て初めて漁師さんと触れ合う機会がありました。自分のイメージでは漁師さんは怖いなどなどと思っていたのですが、接してみると同じ人間などとの親近感を持ち、このような方々が活躍する南三陸町をサポートしたいという思いを抱いて仕事をしています。

栗林 美知子 氏 (特定非営利活動法人 ウィメンズアイ 理事)



栗林さんは子育てを通じて多くの経験を積んでいます。子育てで奮闘しているママさんたちに出会って、その声を聞いてそのサポートをしたいと願い、ウィメンズアイを立ち上げました。ウィメンズアイはミッションとして(1)地域女性のエンパワーメントと、(2)地域女性を取り巻く環境を改善すること、(3)地域女性の声を内外に伝えることを掲げています。「他のちと暮らしを真ん中に自分をいかし歩み続ける女性たち」をビジョンとしています。特に母さんたちの目線での発信そして活動を行っています。

丑田 香澄 氏 (一般社団法人ドチャベンチャーズ 理事)



関西の和歌山県出身の丑田さんが南三陸町に来たのは、大学卒業後の震災のボランティアがきっかけでした。ボランティア活動を2年ほどしていくうちに、東京での仕事を辞めて南三陸町で活動したいと思うようになりました。

栗林さんは子育てを通じて、その経験を交えて、特定の会員で社会人となり、東京での会員として「新しい東北」官民連携推進協議会事務局担当

株式会社 T-B  
Mail : 03-6730-9291@t-b.jp

2015 「新しい東北」官民連携推進協議会 All Right Reserved

## カテゴリ

「新しい東北」復興・創生の星顕影2023

「新しい東北」復興・創生の星顕影2022

「新しい東北」復興・創生の星顕影2021

「新しい東北」復興・創生の星顕影2020

「新しい東北」復興・創生の星顕影2019

「新しい東北」復興・創生の星顕影2018

「新しい東北」復興・創生の星顕影2017

「新しい東北」復興・創生の星顕影2016

Fw:東北FanMeeting

インタビュー2018

みちのくみっけ

東北の明日を切り拓く

東北の「新たな挑戦」

## (2) トークセッション～地域での移住支援と子育ての場づくりを知る

[ショア] [Twitter]

投稿日:2024年1月11日(火)19:00～21:00 [会員登録]

Fw:東北 Fan Meeting